

<p>子どもたち</p> <h1>あいどる</h1>	<h1>一五号</h1>	発行 社会福祉法人 路交館広報部
		発行責任者 尾 埜 健 二
		編集 集 あいどる編集委員会
		〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5
		TEL06-6321-3955 FAX06-6325-6320
ホームページアドレス https://www.rokoukan.or.jp		
掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。		



「新しい年に」

明けましておめでとうございます。

昨年は能登半島の地震から始まり、今年も世界各地での戦火の情報が入ってくる中で、おめでとうの言葉を安易に使っていいのか、正直なところ迷います。

2024年に障がい児共同保育50周年記念大会が行われましたが、大会に並んでインクルーシブ(共生)教育研究所から3冊のブックレットが発刊されました。大阪での活動を中心にインクルーシブ保育・教育の在り方を問い続けている堀智晴氏、生野区で生まれ在日朝鮮人として民族のアイデンティティを問い続けているキムトツカン氏、元路交館理事長であり障害児者を含めた人々の在り方について問い続けている枝本信一郎氏。3者がそれぞれの体験に基づいた鋭い考察を現在の路交館、および社会に突き付けています。

ブックレットに添えられたインクルーシブ(共生)教育研究所の代表である堀智晴氏の言葉を

引用します。

このブックレットを共生社会に向けた一つの「たたき台」として、多くの方に読んでいただき、ご批判をいただきたいと願っています。そして、この日本社会の真の意味でのソーシャルインクルージョンの実現に少しでも寄与できれば幸いです。

私たちの願う「誰もが自分らしく生きることのできる社会」を否定する人はいないでしょう。しかし、現実社会では様々な争い、軋轢、避けようのない痛みがあります。「誰も」の中には当然ですが、思想、信条、さらには道徳規範さえも異なるかもしれない他者も含まれます。自分とは異なる他者に対してこそ、声をかけ、対話し、門戸を開いていくことの大切さを思います。

年の初めに、私たちの目指すものを、改めて皆様と分かち合いたいと思います。本年もよろしくお祈りします。

社会福祉法人 路交館 理事長 尾 埜 健 二

東淡路子ども館 つくしクラブ(学童)

豊新つくしとの交流♪

つくしクラブでは、豊新つくしとの交流をしました!!場所は違えど、同じ境遇の仲間がいることを知り、「友だちになりたい!!」と興味津々な3年生。まずは3年生同士でZoom会議を開き、11月のうんどう会への招待と遊ぶ約束を取り付けました!(^^)!実際に、豊新つくしへ訪問し、お互いに自己紹介をした後に、うんどう会の説明をしていました☆うんどう会当日は、豊新つくしの子もたちが保護者の方とともに参加してくださいました!!今後も交流しながら、お互いにいい経験になればいいなと思っています。

文責：吉水真里奈



幼保連携型認定こども園聖愛園 地域子育てセンター すずらん(一時保育)

おしゃべりしましょう、お茶しましょう♪

すずらんでは、こどもさんが元気であるためには、まずパパママに元気でいてもらいたいと願って子育てのサポートをしています。24時間、365日休みなく子育てをがんばっている保護者の皆さんに「毎日お疲れ様、ちょっと一緒におしゃべりしませんか?」と毎月1回お茶会を開催しています。内容は、ジュースを飲みながら心理テストをしたり、ストレス発散法を聞き合って盛り上がりつつあります。「子どもがすずらんに行っている間に、一人カラオケのデビューしました!」というお声も。お子さんから離れてリフレッシュし、子育ての活力にしてもらっています。別日程のお茶会では、わが子推しのうちわ作りや、おもちゃのテーブル作り、秋祭りのおみこしや道具の準備などなど。作業をしながらわきあいあいと、保護者同士が気軽に話せる場であってほしいと思っています。

そして、子育て中に休憩していいんだ、すずらんを頼っていいんだと感じてもらいたいです。

これからも保護者の方に、ちょっと行ってみようかなと思ってもらえる企画をしていきますので、どしどしご参加下さいね!

文責：関 美沙子



幼保連携型認定こども園北丘聖愛園

~こりすぐみってどんなところ!??~

2022年度からスタートしたこりすぐみ(0・1歳児)は、1歳児の低月齢児と0歳児の高月齢児からなるクラスです。1歳児の子どもたちにとっては午前睡や離乳食といった個々の生活リズムや発達段階に寄り添った生活を送ることができ、0歳児の子どもたちにとっては年齢が近く少し上の子もたちと日々一緒に過ごすことで、遊びや言葉を見て聞いて興味を示し真似をするといった子どもの成長を促すというねらいがあります。学年は違うけれど半年ほどの月齢差というクラスだからこそ、子どもたちの関わりがたくさん見られます。例えば、月齢が上の友だちが下の友だちに対して泣いている子によしよししたり帽子を取ってあげたりする姿があります。その様子を見て下の友だちも真似して色々なことを吸収してお互いに成長し一緒に楽しむ子どもたち。その様子が“小さなたてわりクラス”のように感じ、発達段階をゆったり過ごせることはもちろんですが、乳児で異年齢での関わりが日常的にあることも、このこりすぐみの良いところだと感じています。

11月にこりすぐみの子どもたちはひよこ・りすそれぞれのクラスに移動しました。新たなクラスでも関わりを広げながら過ごし、日々成長している姿が見られています。

文責：佐藤 菜々世



豊新つくしクラブ

～3年・2年 リーダー活動～

3年生のリーダー活動として、おでかけ活動をしました！3年生が行き先を自分たちで決め、移動手段や費用も調べて計画しましたよ。更に3年生だけでなく2年生も連れていくチャレンジをして、3年・2年で協力して準備を進めました。行き先は“カップヌードルミュージアム”。自分だけのカップヌードルが作れるということで楽しみにしていました。電車のことが得意な3年生が乗り継ぎをスムーズにこなして最寄り駅まで到着！しかしそこからミュージアムまでの道を調べておらず道に迷うことに…。そこで駅周辺の地図を見ればいいことに気づき、無事、ミュージアムにたどり着きました！カップヌードルの製造過程を食い気味で見つめる子どもたち。自分のマイカップヌードルもゲットして大満足でした！



自分たちで計画して準備するなど、子どもが主体となって行動する経験が大切だと思います。自分たちが実際に動いて努力したものが実る経験や達成感は子どもたちの次の意欲につながっていくと思います。自分たちならもっと楽しいことができる自信を持っているんなことにチャレンジして行ってほしいと思います！

文責：宮本 裕



児童発達支援センター わかくさ 放課後等デイサービス

ポプラキャンプに行ってきました！

今年度のキャンプは、行きは公共交通機関を使って行きました。乗り換えをしながら目的地の『神戸三宮』に無事に到着しました。

昼食食べたらずは夕食の食材買い出し。焼きそばとバーベキューの材料からパジャマパーティーのおやつまで買うものがたくさん！2つのチームに分かれて買い物スタート！“買い物リスト”を片手に売り場を歩き回るメンバーさんたち。そんなときは一緒にいるメンバーさん同士で協力しながら食材を全て買うことができました！



今年は初めて焼きそばづくりに挑戦！まずは野菜の調理です。野菜の皮むきから鉄板で炒めるまで自分たちでしていきました。具材を炒めるという工程が楽しかったようで職員が炒めていても「ちょっと貸して」とトングを取ってしまう一幕も。麺を入れて具材がいい感じに炒められ、ソースを入れると一気に焼きそばの匂いがして「わあ～、美味しそう♪」とメンバーから声が上がりました。これまでは皮むきや切る工程のみだったのですが、今回は炒める工程にも参加することができ“自分たちで最後まで作った”という達成感を感じるということができたのではないかと思います。焼きそばもバーベキューもデザートも普段ポプラではできないキャンプならではの食事を楽しみ、充実感いっぱいのメンバーさんたちでした♪



夜のお楽しみでランタンを持って広場に行って星空観賞をしました。街灯も少なく空を見上げるとたくさんの星が綺麗に見えました…が、メンバーさんたちは「暗いのが怖い」と友だちに寄り添ったり、ランタンや懐中電灯を使って友だちを驚かせたりと星にはあまり興味がない様子でした(笑)部屋に戻ってからはおやつを食べたりおしゃべりを楽しんだりとお泊りでしかできない楽しい夜の時間を過ごしました。

翌朝は6時に起きてバイキングの朝食を食べて朝の散歩。外に出ると雲一つない快晴でみんなの笑顔も晴れやかです♪広場にあった舞台の上に乗ってラジオ体操をしたり、ダンスを踊ったりと朝から元気いっぱい！迎えのバスが来るまで広場を端から端まで歩いて探検。想像以上に広かったりアスレチックがあったりと前日には気づかなかった発見がありました。そうこうしているうちに楽しかったキャンプもあっという間に終わりを迎えました。

文責：越後直之



児童発達支援センターわかくさ さくらんぼルーム

秋の遠足

10月に遠足へ行ってきました！

赤グループ(1～2歳児)はバスで北江口中央公園へ、白グループ(3～5歳児)は電車に乗って南吹田公園へ行きました。赤グループの子どもたちはすべり台やブランコに何回も乗り、お昼におにぎりを食べて満足そうな表情でしたよ。その中で友だちに帽子を被せてあげたりブランコの順番を待ったりと、成長した姿を見せてくれる場面も多かったです。



白グループは横断歩道で手をあげて渡る友だちを見て、同じように手をあげて渡る子もいて職員も驚きました。色々な遊具で友だちと一緒に遊んだり、それぞれ好きな遊びに熱中して楽しみました。春の遠足ではおにぎりをうまく持てなかった子が、上手に持って食べている姿も見られました。

子どもたちにとって楽しい思い出の一つになってくれたらいいなと思います。

文責：石田涼子

ほっとコミュニティういる

～新作蒸しパン試作中～

こち珈琲店では、もともと聖愛園さんのおやつで提供されていた「蒸しパン」のレシピを教えてください、メンバーさんが手作りで「蒸しパン」を作られています。現在の蒸しパンの味は、キャロット・ココア・黒糖・抹茶・レーズンです。

メンバーさんがお客様との繋がりを感じられる「蒸しパン」は、地域のお子様にも、より身近に感じてもらいたいという思いで、食べたい味をアンケートすることにしました。メンバーさんは、「ぼくアンケートしてくれる？」と声をかけ、「ミックス蒸しパンはどう？」、「何がいい？他には？」と会話をされていました。アンケートの声かけを通して、地域のお子様とお話ができて楽しかったそうです。

ミックス蒸しパンやチョコ味のご意見も多いため、「抹茶&チョコ蒸しパン」を試作中です。メンバーさんと試行錯誤しながら、チョコの種類を変えたり、蒸し器にチョコを入れるタイミングを変えたりしています。今後も、お客様に「抹茶&チョコ蒸しパン」を提供できるように頑張ります。

文責：道広萌愛



路交館

東淀川区民まつりに出店しました。

10月14日（月・祝）に、「東淀川区民まつり」が開催され、地域に路交館を知ってもらい、今後の関係作りに繋がるようにと、東淀川区にある聖愛園・豊新聖愛園・プラザ・ウイリッシュ・グループホーム・わかさ・総務部で、初めて出店しました。

お店は子どもも大人も楽しめる簡単ワークショップとし、しばしの時間作りながら、参加した地域の方と職員とワイワイお話しも楽しんでもらえたら…と企画しました。

当日は、本当にすごい人で驚きでした。

プラバンは、子どもだけではなく、親子で絵を描き、トースターを子どもと一緒に覗き込みながら、縮んでいくのを歓声をあげて喜んでいる方もおられました。



聖愛園・豊新の園児や卒園児さんもたくさん来てくれました。またマスキングテープや牛乳パックを利用したの手作りコーナーでは、お気に入りの柄のマスキングテープを選びオリジナルの小物入やアンブレラマーカーを作りとっても満足してましたよ。また、今回初めましての方もたくさん来てくれたので、出会いを大切に、路交館を知ってもらおうきっかけ作りになってくれたらと願います。

文責：碩 由香

ういず守口・ういず滝井 守口市民まつりに参加しました！

11/3(金) この日は天候も良く、秋とは思えないほどの暑さの中、守口就労B型はクッキー販売、守口生活介護は今回初めてポップコーン屋さんでも参加しました。

15種類のフレーバーを用意しての販売で、お客さんの行列が出来て大賑わいでした。また14時過ぎからは、舞台衣装に着替え、ステージでダンスにも出演しました。今年度は、『ラーメン体操』と『WA!! になって踊ろう』のダンスを披露しました。

十分な練習時間の確保が難しい中で、市民まつり参加メンバーで集まって練習した成果もあり、本番当日はそれぞれが楽しそうに踊って自分を表現されていました。その楽しい雰囲気伝わったのか、観客席では一緒に踊ってくれているお客さんもおられ、そんな観客席に気付いたのか、踊っているメンバーさん達は更に生き生きとして、見ていた私たち職員も幸せな気持ちに包まれました。来年の市民まつりや、他のイベントにも繋がる自信がもえた今回の市民まつりでした。

文責：市山千恵子



桜の園 宿泊旅行

宿泊旅行 ～①の部屋モンキーパークへいくぞ～!!～

今年の桜の園の生活介護の宿泊旅行の行先が京都の嵐山と滋賀のプレーメンの丘に決まり、「楽しみやなあ」とワクワクするメンバーさん（利用者）。さて①の部屋（クラス）では『どういうルートで嵐山の散策する？』『宿泊先の部屋決めどうしよう』と毎週のメンバーミーティングで、旅行の話をしていくことになりました。

有名な竹林の小径やおしゃれカフェなど写真を見て色んな候補がある中「モンキーパークがいい!!」とメンバーさんから意見がでました。

「えー！猿?!」と他のメンバーさんのツッコミがさっそく入りつつ、モンキーパークの動画をプロジェクターを使ってみんなで見ることに。

動画の中では頂上までの道のりとたくさんいるお猿さんたちが紹介され、「この山道登れるかー？」など不安な声も上がり、職員も実はドキドキでしたが、メンバーさんの「いってみよう」の声で「みんなで頂上まで登りきるぞ!!」と目標を決めてモンキーパークに行くことに決められました。

旅行が終わり振り返りをしたときに、「モンキーパークほんま大変やあって!!」と一人のメンバーさんが感想をいってくれました。「〇〇さんが僕を置いて先すすむねん!」「〇〇さんがめっちゃ歩くの遅かった!!」「〇〇がサルに勝手に近づいてん」「〇〇さんおサルのエサ取ろうとした!」と出てくるコメントは苦労話がほとんどでしたが、それでも同じ部屋（クラス）のメンバーさん中心の話ばかりで、話されている表情もなんだか楽しそうで嬉しく思いました。みんなでモンキーパークまで登り切る目標を決めていくことに意味があった旅行だと改めて感じさせられました。

文責：松永朔満



グループホームういるハウス淡路 東淀川区民まつりに利用者さんが参加！

10月14日(月・祝)グループホームの利用者さんが2人、東淀川区民まつりに参加されました。最初は、路交館のブース看板を持って呼び込みの声掛けをして回るお手伝いをされ、その後は参加者として区民まつりを楽しまれました。

ブースのお手伝いとはいっても(なにをしようかなあ)と、最初は様子を見ていた2人でした。どうしようかなあときよろきよろきしていると、呼び込みの手持ち看板を見つけた瞬間に片方の利用者さんにスイッチが入ったのか、両手で掲げて元気よく声を出しながら歩き回っていました。



路交館が出展していたのは区役所の4階で、入口の扉が開く12時30分には列の最後尾が階段まで続いて見えないぐらいたくさん並ばれているお客さん達。開場と同時に一斉に入ってくる大勢のお客さん達に、ニコニコ笑顔で看板をかかげたり一応持ってます風で看板を持ってくれている、それぞれ違った2人の様子が印象的でした。

お祭りのお手伝いを一通りして、自分達もブースを見て回った後、さあ帰ろうかとなった利用者さんと職員でしたが、そこでもエピソードが。責任感が強い利用者さんが、

片付けまで残ると申し出てくれたのです。1日歩きまわって疲れていても最後までやるという気持ちがすごいなと感じました。

文責：三木佑太



ウイリッシュ

旅行@KOBE~9月19日木・20日金の2日間で、神戸へ旅行

1日目は神戸フルーツフラワーパーク。行きのバスの中では〇×クイズで盛り上がり、途中宝塚北SAでお昼ご飯を食べたりとみんなでわちゃわちゃしていたら、あっという間にフルーツフラワーパークに到着しました！昼は遊園地で楽しんで、夕方はBBQでお腹いっぱい食べ、夜の宴会ではカラオケやゲーム大会などで盛り上がりました！みなさん疲れてすぐ寝るのかなあと思いきや、逆に興奮して全く寝ず！職員はへろへろでした…(笑)



2日目は神戸散策。“神戸の雰囲気を楽しもう！”ということで、南京町に行くチームチームや、ハーバーランドの海に見えるお店で優雅にビュッフェを楽しむチームもありました！私たちのチームは南京町で食べ歩きをしたのですが、南京町に着いて、みんなで写真を撮っていたのですが、あるメンバーさんが早くご飯を食べに行きたくて暴れ出してしまいました。それでもチームのメンバーさんが寄り添っ

てくれて、暴れていたメンバーさんもこんなことをしている場合じゃない！と気持ちを切り替えて、なんとかみんなで胡麻団子や餃子など、神戸グルメを食べる事が出来ました！帰りのバスではさすがのメンバーさんもお疲れの様子でした。

今年度は初めて旅行に行く職員が多く、ワクワクよりもドキドキの方が大きかったのですが、メンバーさんたちのおかげで、無事楽しい旅行になりました！！

文責：木村二葉



路交館を支える人たち システム担当

大谷豊治さん 高橋順治さん

路交館では、直接保育・支援に関わることは少なくとも、多くの人たちが事業運営を支えてくれています。今回はそんな中から、パソコンや様々な機材などの設備を整えてくれているシステム部のお二人の紹介をさせていただきます。

大谷豊治さんは、法人設立時から法人の理事を務めてくださっていた故高崎俊盛さんから、聖愛園の旧園舎の電話回線とコードレス留守番電話の発注を受けたことから路交館とお付き合いが始まりました。その後、聖愛園の建て替え時に設置したプレハブの仮園舎のビジネスホンの設置をはじめ、事業が拡大していく中で元理事長の枝本信一郎さんと、何度も相談を重ねながら路交館の通信環境の整備を担ってきてくれました。

9年前に路交館の職員となってからも、増えていく事業所のパソコンの設置だけでなく、カメラや電話回線の設置の手配や、業者との打ち合わせ・工事の立ち合いなど、目まぐるしく変わっていく社会環境の中で、保育士さん、支援者さんが子どもたち、利用者さんたちの支援に力を注げるよう、法人内外を飛びまわり続けています。

法人規模が拡大していくことと、定年が近づく中で後任探しも意識するようになり、前職の部下であった高橋順治さんに声をかけたそうです。高橋さんにとっても突然の話で、即答はいただけなかったけれど、路交館が必要としている技術と人柄を擁しているのは高橋さんしかいないと待ち続けた結果、一年後に高橋さんの方から「あの話はまだ生きてますか？」と連絡をいただきました。

高橋順治さんは(前職で、大谷さんの部下として働いていましたが)大谷さんが退職された後も、システム業者の技術者として勤務していましたが、勤めていた会社が事業を終了することになり、次の職場を探すことになったそうです。次の就職先としていくつか声をかけてくれる会社もあったそうですが、大谷さんとの縁もあって路交館に職員として入職してくれます。

高橋さんが入職してからは、皆さんもご存じの通り、コロナ禍で保育・支援に様々な制限を受けるようになります。その中で、ZOOMを使っている会議設定などをはじめ、職員、拠点間のコミュニケーションが少しでも上手くいくように、大谷さんと二人で法人内外を飛び回ってくれました。パソコンや機械の操作が苦手な職員さんも大勢いる中で、些細な質問でも、同じことを何度聞いても、嫌な顔一つせずいつも笑顔で丁寧に説明してくださっている姿は、職員の皆さんは良く知っていることでしょう。

お二人から路交館の職員さんたちに対して一言づついただいています。

大谷さん「路交館を立ち上げてきた人たちと長く付き合ってきましたが、皆さん子どもたちや利用者さんのことはもちろん、働く職員さんたちのことをとても大切にしていました。特に僕に声をかけてくださった高崎さんは労働組合の支部長・書記長を務めていたこともあり、路交館の職員の処遇改善にとっても力を入れてました。今の路交館は他の法人と比べて福利厚生などの職場環境がとても素晴らしいと思います。僕は定年が近づいてきたけれど、先人たちの思いを引き継いで、これからも頑張ってください。」

高橋さん「福祉の現場で働く方にはなじみがないかもしれませんが、石を投げれば技術者にあたると言ってもいいくらい、技術者はたくさんいます。私はソフトバンクやグーグルの先端技術者ではないですが、いろんな病院や福祉施設などでも設備関係の仕事をしてきた中で、働いている人たちの声を聞いて、その人たちに合ったシステムを考えていけるのが私の持ち味だと思っています。道具(システム)に人が合わせる必要はなく、人に道具を合わせていくのが私の仕事です。だから、なんでも聞いてください。聞かれることは私自身の知識・技術の確認にもなるので、遠慮なく、何度でも聞いてください。」

今回システムのお二人の話をお聞きいただき、ともに働く仲間を大切にすること、人を変えるのではなく社会を変えていくことを目指している、路交館の理念をお二人とも大切にしてくれているのだと改めて感じました。頼もしいお二人の紹介ができて、私自身もとてもうれしく思います。

文責：尾塔健二



桑原重夫氏記念会

昨年9月16日、路交館の元理事長である故桑原重夫牧師の記念会を行いました。ご家族をはじめ生前関係のあった方たちが多く集まって、それぞれの立場から桑原先生との思い出を語っていただきました。厳しい境遇の中でも決してユーモアを失わず、周囲を明るく照らし続けてきた人柄が、現在の路交館の組織風土の礎を築いてくださったのだと改めて感じさせられます。

桑原先生は1980年、韓国で起きた軍事政権に対する市民による民主化要求の蜂起、いわゆる光州事件の際に韓国で深刻な人権弾圧が起こっていることを世界に向けて発信し続けました。その功績もあって、1998年には民主化運動のリーダーであった金大中大統領の就任式には国賓として招かれています。

民主主義も人権も、私たちはそれが当たり前に、普遍的に存在するものであると感じがちですが決してそうではありません。激しい痛みや、多くの犠牲を払いながら、先人たちが勝ち取り、守り続けてきたものの上に、私たちの暮らしは成り立っています。人権や民主主義が全く存在しないかのような境遇の中で生きている人たちもたくさんいます。遠い異国だけではなく、私たちのすぐ近くにもたくさんいます。

桑原先生であれば、今の世界に対して、今の路交館に対して何を思うのか。直接声を聞くことはできませんが、様々な想像がめぐります。路交館には何ができるのか?これからも多くの職員の仲間たちと、皆様と共に問い続けていきたいと思っています。

文責：尾塔健二



★寄附のお願い

社会福祉法人路交館では、当法人の活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。

お寄せいただいた寄附金は、利用児者皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等にさせていただきます。

皆様からの温かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

★郵便振替（寄附金の振込先）
 振替口座：00980—3—314818
 加入者名：社会福祉法人路交館
 《同封の払込取扱票をご利用ください》

★銀行振込（寄附金の振込先）
 【金融機関名】三菱UFJ銀行 淡路支店
 【口座番号】普通預金 499499
 【振込先名義】社会福祉法人路交館

●銀行振込の場合、お手数ですが、寄附申込書を電子メール、または郵送でお送りください。入金確認後、領収書を発送いたします。【メールアドレス：soumu@rokoukan.or.jp】

●当法人は税額控除対象法人ですので、ご寄附いただいた方が確定申告される際、「所得控除」ではなく「税額控除」で申請することも可能です。

◎所得控除

(所得金額－所得控除額※1) × 税率 = 控除後税額

※1 社会福祉法人等に対してその年中に支払った寄付金の合計額から 2,000 円をひいたもの

◎税額控除

税額－税額控除額※2 = 控除後税額

※2 (税額控除対象寄付金－2,000 円) × 40% = 控除額

♪ あしおと ♪

聖愛園・あすなろ・地域子育て支援センター

2月14日(金) ゆりさんありがとう会（あすなろ）
 3月8日(土) 卒園式（聖愛園）
 3月10日(月) すずらん卒室式（地子セ）
 3月14日(金) どんぐり卒室式（どんぐり）

東淡路子ども館

1月25日(土)～26日(日) つくし思い出旅行（学童）
 2月1日(土)～2日(日) 杉の子スキー旅行（学童）
 3月1日(土) つくし卒室式（学童）
 3月29日(土) 杉の子卒室式（学童）

北丘聖愛園

3月8日(土) 卒園式

豊新聖愛園

3月8日(土) 卒園式

豊新つくしクラブ

3月15日(土) 卒室式（3年生）

ほっと

3月 辞令式

桜の園

3月 辞令式

ういず守口・滝井

2月23日(日) 春をよぶみんなのコンサート

わかくさ ポプラ さくらんぼ

2月8日(土) ポプラ卒室おでかけ
 2月 プチ発表会（さくらんぼ）
 3月8日(土) ポプラ卒室式（わかくさ）

ウィリッシュ

2月 運動会
 3月 辞令式

幼保連携型認定こども園 聖愛園より

赤い羽根共同募金からの助成でスチームコンベクションオーブンを購入することができました。

共同募金にご協力いただきました府民の皆様には感謝いたします。



編集後記

皆さま、明けましておめでとうございます。今回の「あいどる」154号は、新年号ということで、利用者さんや子ども達の笑顔を表紙に掲載させていただきました。本年も、路交館の行事や活動、そして利用者さん、子ども達の笑顔や様子をたくさんお届けできたらと思います。

編集担当：藤原